

KOBA MIRAI JAPAN

一緒にあなたの未来を実現します

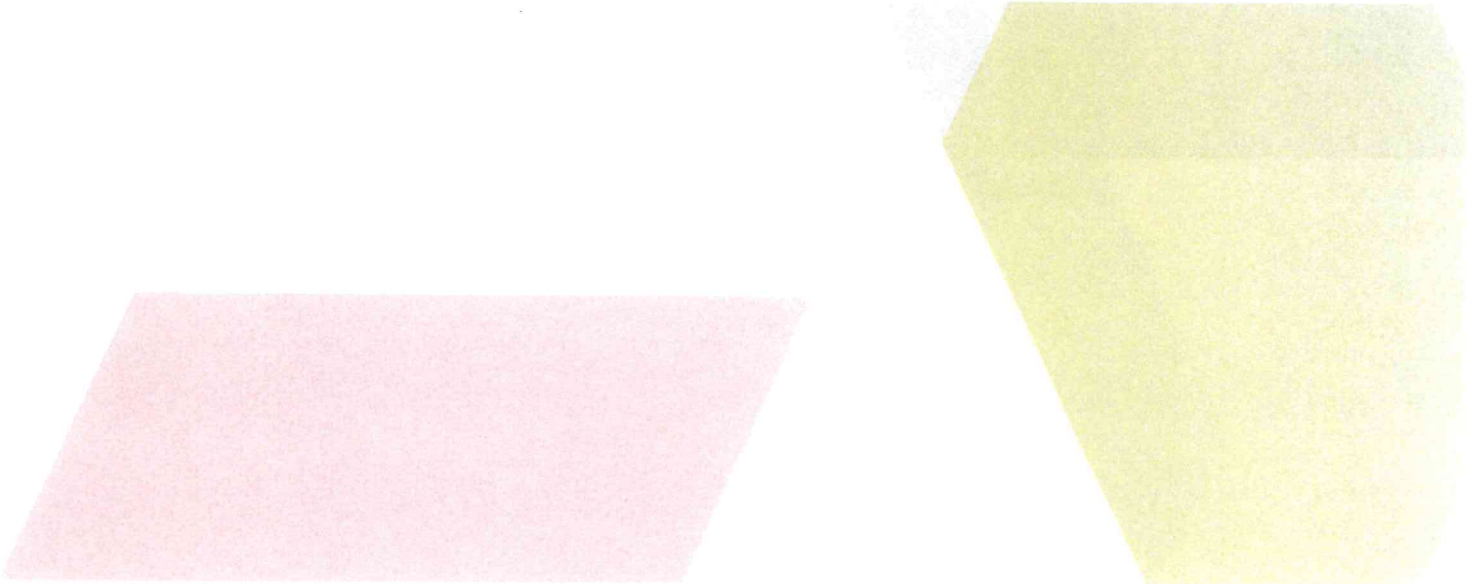




日本語学校許可証 LPK 569/21/XII/LPK/2017

(Reg No:32.76.019.2017)

(上記許可証には、インドネシア政府よりLPK KOBAMIRAI
JAPAN が日本語学習修了者に証書発行についての許可が記
載されています)



ご挨拶

1994年にインドネシア駐在になり色々な方との出会いがあり、滞在期間が24年過ぎた今では、思い出と言うよりも出会った方々全員と家族のように暮らしています。

日本へ帰国しても浦島太郎状態ですので、インドネシアで骨を埋めたいと考え、いつも「インドネシアに恩返ししたい」と願っています。

あるとき、インドネシアの中部ジャワのアリヒクマ デュア大学 看護学科DIIIから生徒に日本語を教えて欲しいとのお話を頂き、この恩返しを実現するために、日本語学校LPK KOBA MIRAI JAPANを設立しました。

2016年に、インドネシアで設立しましたLPK KOBA MIRAI JAPANのスローガンであります【一緒にあなたの未来を実現します】に基づいて、介護技能実習生と技能実習生の日本への送り出し 又、日本への留学を通じて、インドネシアの若者の夢を応援することを使命としています。

インドネシアでは、約85%がイスラム教徒です。しかし日本で考えられているイスラム教徒ではなく、インドネシアのイスラム教徒は穏健で寛容な人達ばかりです。ですから日本で仕事(実習)をする場合、宗教的な問題はないと考えています。

そして弊日本語学校で学習を終えて(介護技能実習生は日本語能力試験N3を目標、技能実習生はN4を目標)日本に送り出す時には言葉のコミュニケーションでの問題が無い様に責任を持って学習指導を行っていますので、自信を持って日本へ送り出します。

小林朝則

CEO Koba Mirai Japan



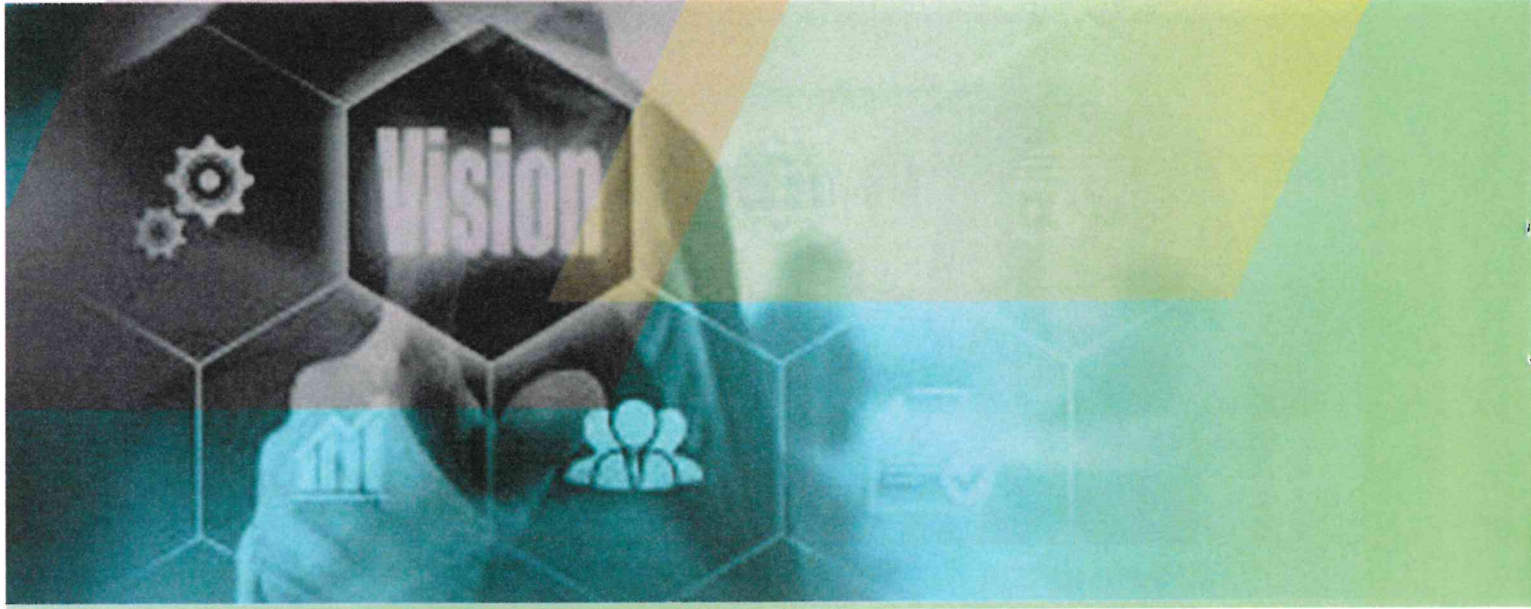


Lisa Heriyati
Direktur

弊日本語学校について

LPK KOBA MIRAI JAPANは、2016年に設立され、小林朝則と小林リサが創設しました。日本語学習と日本の文化教育のプログラムを通じて地域社会を発展させることを目的にしています。

介護技能実習生と技能実習生には、教育を通して独立心と責任感を持つように指導し、個人の質を高め日本に行って仕事（実習）をする場合自主的に行動することを目標にしています。



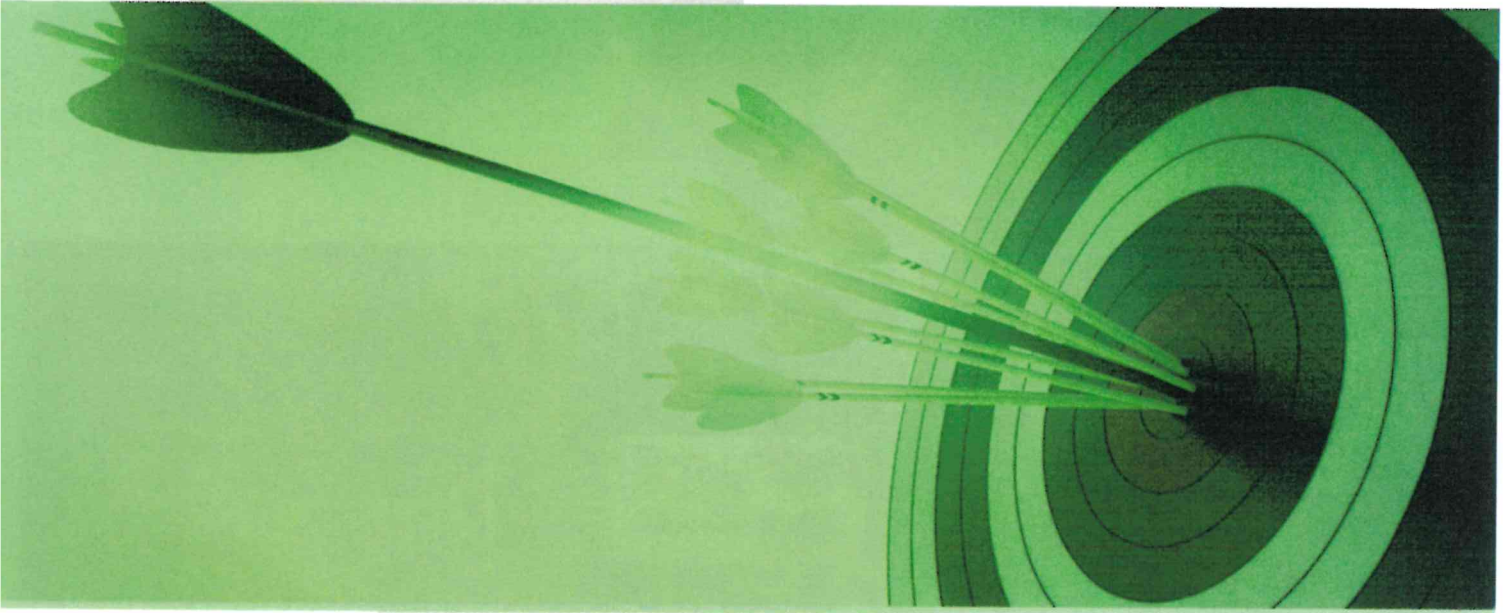
ビジョン

LPK KOBAMIRAI JAPANで、インドネシアで日本語、職業倫理、日本の文化、日本でのマナーを学習します。

Visi LPK Koba Mirai Japan

LPK KOBAMIRAI JAPAN は、次のようなビジョンを掲げています。

「日本語教育を通して、品格の向上、積極的な行動(独立心)、日本的なマナーの習得をめざして日本での仕事(実習)に対応できるようになることと、日本の文化を学びます。



弊日本語学校の使命

1. 日本語、職業倫理、日本文化の学習教育において、有資格者、優れた人材を育成するための教育を実施すること。
2. 主に日本語学習、職業倫理、日本文化に専門的な教育サービスを提供すること。
3. 国内および国際レベルでの鑑賞、教育及びパートナーシップ向上の取り組みを実施すること。



日本語教育

LPK KOBA MIRAI JAPANは、日本語教育を実施します。このプログラムは、一般市民、学生、従業員、および子供を対象としています。独自のカリキュラムでは、生徒には日本語学習用教科書による学習法だけでなく、オーディオ・ビジュアルも使用して学習します。

日本語プログラム

- 1.レギュラー用のプログラム
- 2.プライベート用のプログラム
- 3.家庭でのトレーニング
4. JLCT準備プログラム(日本語テスト)
- 5.日本留学準備プログラム
- 6.日本語からインドネシア語翻訳サービス
(インドネシア語から日本語翻訳サービスもあります)



外国人技能実習プログラム

外国人技能実習プログラムは、産業、漁業、農業、建設などの分野で日本で3年間の知識と経験を習得するために、専門高等学校卒業生以上を対象とした日本での技能実習プログラムです。私たちは、技能実習生が日本で培われた技術・技能・知識をインドネシアに帰国後に移転することを目的としています。

要件

1. 18～30歳の女性または男性。
2. 専門高等学校卒業生以上。
3. 日本での技能実習プログラムで日本で実習したことがない人。
4. 正直で規律正しく生活ができる人。
5. 技能実習プログラムに対して強い意欲がある人。
6. 入れ墨がなく、身体的な障害がないこと。
7. 適用される全ての規則を遵守できる人。

介護技能実習プログラム

日本での介護福祉士プログラムは、DIII看護学校 (AKPER) 卒業生を対象とした介護技能実習プログラムです。これまでのところ、インドネシアの看護師が日本で看護師や介護士として働くことを望む場合、政府プログラム (EPA) のみ行うことができました。しかし、2017年11月より、この機会が広がりました。介護技能実習プログラムを通じて、インドネシアでの保健医療従事者は、3年間日本で介護福祉士として働くことができます。政府の介護技能実習プログラムは、開発途上国からの介護技能実習生へ技能等の移転を図り、帰国後にインドネシア国の経済発展を担う人材育成を目的としたものです。

介護技能実習プログラムの目的は、介護の分野で経験を積み、スキルを向上させ知識を増やすことです。参加者は自分の日本語能力を磨きながら現場での作業 (実習) に専念することができます。

要件

1. 21～35歳の女性または男性。
2. DIII看護学校 (AKPER) 卒業生以上。
3. 日本での技能実習プログラムで日本で実習したことがない人。
4. 正直で規律正しく生活ができる人。
5. 技能実習プログラムに対して強い意欲がある人。
6. 入れ墨がなく、身体的な障害がないこと。
7. 適用される全ての規則を遵守できる人。

外国人日本語能力検 定試験 JLCT

JLCTは一般社団法人 外国人日本語能力試験機構による日本語能力検定試験です。

1. 本テストは原則として日本語を母国語としない人を対象とするもので言語コミュニケーション能力を測ります。レベルは5段階に分かれています。即ちJCT、JCT1、JCT2、JCT3、JCT4、JCT5の5つのレベルです。それぞれの段階で
 - 言語知識(文字、語彙、文法)
 - 読解
 - 聴解の三つに分けて日本語能力を測るものです。
2. この試験は、日本国内(主要都市) 及び インドネシア、パキスタン、インド、モンゴル、タイ、フィリピン、モルディブ、ベトナム、中国、台湾、ミャンマー、バングラデシュ、ニュージーランド、サウジアラビア、ネパール、アラブ首長国連邦、韓国、コンゴ共和国で実施しています。

PT.KOBA MIRAI JAPAN (LPK KOBA MIRAI JAPAN)

インドネシア国におけるJLCT試験の実施エージェント

JLCT 一般社団法人 外国人日本語能力検定機構

所在地:東京都千代田区麴町4-5 麴町アネックスビル

TOJ701

日本の文化

LPK KOBA MIRAI JAPAN は、子供や大人が学ぶことがで

きる日本の文化クラスを開設しています。

日本の文化クラスは、それぞれの専門家である教師によ

って指導されます。

利用可能な正規のクラスと一時的なクラスがあります。

日本の文化のクラス

1. 日本舞踊
2. 生け花
3. 太鼓
4. 折り紙
5. 料理教室
6. 浴衣クラス
7. 茶の湯クラス
8. 三味線クラス
9. ヨサコイダンス

協力している大学

大学内で日本語の授業をLPK KOBA MIRAI JAPANを実施している大学は、アリヒクマ デュア大学 看護学科DIII(中部ジャワ)

日本語能力試験JLCT、LPK KOBA MIRAI JAPANは、アンダラス大学(パダン)、北スマトラ州立大学(メダン)、ジャカルタ州立大学(ジャカルタ)、バンドン大学(バンドン)、スマラン州立大学(スマラン)、ムハマデア・ジョグジャカルタ大学(ジョグジャカルタ)、プンディディカン・インドネシア大学(バンドン)、ブラジャヤ大学(マラン)、スラバヤ州立大学(スラバヤ)の大学と協力しています。

協力しているホテル

ヴェランダホテル(ジャカルタ)

(日本のBBHホテルグループ)

協力している介護施設

老人ホーム イスラミック(タンゲラン)





